

**藤沢市民会館等再整備基本構想（素案）に関する
市民意見公募（パブリックコメント）の実施結果について**

「藤沢市民会館等再整備基本構想(素案)」は、老朽化が進んでいる市民会館及び暫定移設している南市民図書館と市民ギャラリーの再整備を基本に、文書館、藤沢青少年会館、市民活動推進センター等の機能集約を図るとともに、奥田公園や奥田公園駐車場を活用し、さらに浸水対策施設の整備を目的とした事業の素案です。

この藤沢市民会館等再整備基本構想(素案)に広く市民の皆様からご意見を伺うため、市民意見公募（パブリックコメント）を実施しました。

ご提出いただいたご意見につきましては、今後実施する藤沢市民会館等再整備事業の参考とさせていただくとともに、市民意見公募（パブリックコメント）の実施結果として公表します。なお、ご意見は類型化し要約して市の考え方を付しております。

●市民意見公募（パブリックコメント）実施概要

意見等を募集した件名	藤沢市民会館等再整備基本構想（素案）について
実施期間	2021年（令和3年）11月25日～12月24日
意見等の提出できる方	市内在住・在勤・在学の方 市内に事業所などを有する方 その他利害関係者
意見等の提出方法	郵送、ファクス、持参又は市ホームページからの電子提出
素案の閲覧	文化芸術課（藤沢市民会館） 市役所本庁舎・分庁舎（総合案内）、市政情報コーナー 各市民センター・公民館、市のホームページ
意見等提出者数	53人
意見等総数	99件

●意見等の内訳

意見等の内訳	件数（件）
1 第1章2事業対象地及び施設の現状に関する意見等	9
2 第3章1基本理念及び基本方針の考え方に関する意見等	5
3 第4章1複合化する施設（機能）に関する意見等	29
4 第4章2藤沢市民会館の設置目的、今後の方針に関する意見等	9
5 第5章2ゾーニングのパターンに関する意見等	2
6 第6章1事業手法の考え方に関する意見等	2
7 再整備事業に関する意見等	38
8 その他の意見等	5
計	99

●意見等の反映

意見等の内訳	件数（件）
①基本構想に反映させる	1
②基本構想に考え方が含まれている	7
③今後の取組の参考とする	87
④その他（①～③に当てはまらないもの）	4
計	99

【本パブリックコメントへの問合せ先】

藤沢市 生涯学習部 文化芸術課 ※月曜日休館
電話 0466-50-8233（直通） FAX 0466-25-1525
電子メール：fj-c.hall@city.fujisawa.lg.jp

●藤沢市民会館等再整備基本構想（素案）への意見等要旨と市の考え方等

1 第1章2事業対象地及び施設の現状に関する意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	浸水対策施設については、防災の観点からこの地域に必要なことや、今回検討されている文化ゾーン以外に設置検討、または検討不可な理由など、市民にも情報を公開して頂きたいですし、説明して頂きたいです。	浸水対策施設については、基本理念・基本方針に基づき、安全安心を支える拠点として検討を進めてまいります。また、浸水対策施設の計画に関する情報発信と情報共有にも努めてまいります。	③
2	浸水対策は必要だけれども素案に示された図はとて大きく、これだけのものが本当に必要なのか、その根拠を示してほしい。できれば複合施設となじむようなつくりしてほしい。		
3	施設規模、容量の算定根拠の開示、当該内水氾濫区域に於ける雨水の貯留、浸透施設整備の現状と計画、又その処理能力に対する当施設の妥当性の説明が望まれる。敷地全体、施設、周辺道路や緑地他全てに雨水貯留、浸透施設、浸透処理等の浸水対策が望まれる。それによって遊水池としての緑の広場、緑の丘に覆われた雨水貯留施設等の景観に配慮した施設として計画が可能か、検討して欲しい。		
4	浸水対策施設は場所的にとても必要なことは理解できます。しかし、あまりに情報が少なく、もっと具体的な説明を市民にするべきではないでしょうか。早急に具体的な情報をいただきたいと思います。	浸水対策施設の計画に関する情報発信と情報共有に努めてまいります。	③
5	防災用浸水対策ポンプ施設がこの再整備では不要と考える。どうしても言うのであれば、奥田公園の地下に設置し、市民会館等の施設には景観性を大切にしたもの、緑を重視した総合芸術文化施設とすべきである。	浸水対策施設については、基本理念・基本方針に基づき、安全安心を支える拠点として検討を進めるとともに、様々な機能を充実させた再整備事業を進めてまいります。	③
6	治水防災の機能(ポンプ施設)を備えることが安全なのか、別の場所に設けた方がよいのではないかと。あくまで文化施設であることを優先し、併設することで建築費用や期間がかさむのではないかと心配。	浸水対策施設については、基本理念・基本方針に基づき、安全安心を支える拠点として検討を進めるとともに、様々な機能を充実させた再整備事業として、当該地での設置を進めてまいります。	
7	地上10mの浸水対策施設が会館に隣接して計画されているのは驚きです。他の候補地も探していくつかの案の中からこの場所に決めたのでしょうか。防災上の必要性は充分認めますが、市民会館、図書館等の文化施設との共存には無理があると思われる。施設に音や振動などの不安はないのでしょうか。文化施設と防災施設は切り離して考えて下さい。	浸水対策施設については、基本理念・基本方針に基づき、安全安心を支える拠点として検討を進めるとともに、様々な機能を充実させた再整備事業を進めてまいります。また、個々の施設の用途に応じて共存できるよう、配慮してまいります。	
8	浸水対策施設が建替用地も含め、市民会館等の予定されている敷地面積のかなりの面積を占めて(2,400坪が想定されている)いることは問題であり、広々とした公園の中に市民会館等があるというコンセプトからすれば、浸水対策施設の構想は唐突感があることは否めません。浸水対策は境川の護岸工事の強化、市民会館等の建設予定地以外の場所を選定すべきであると思います。	浸水対策施設については、基本理念・基本方針に基づき、安全安心を支える拠点として検討を進めるとともに、施設の規模のコンパクト化等を含め、様々な機能を充実させた再整備事業を進めてまいります。	③
9	浸水対策施設は、面積4000㎡、高さ10mの建築物ときいています。10施設の複合となれば、小さいコンパクトな施設になり、本来の利用がしにくくなりそうです。しかも大きい面積を取るには、高層になるでしょう。浸水対策は安全のための大事な問題です。さけて通れない問題です。外観を想像してみても、緑の広場、広い木立の前に5～6階？のコンクリートの建物が！！再度、複合化について検討を続けて下さい。		

2 第3章 1 基本理念及び基本方針の考え方に関する意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	施設の基本理念「人々が集い、奏で、響きあう、文化芸術の共創拠点」に心から賛同いたします。		
2	藤沢市民会館とともに藤沢で生まれ育ち、結婚し都内へ転居しましたが、再び藤沢に戻り子育てしてきました。建て替えと聞き、寂しくもあり、楽しみでもあります。基本構想の基本理念はとてもよいと思います。	生活・文化拠点として、基本理念の実現に向けた基本方針に基づき、再整備事業を進めてまいります。	②
3	市が考える「文化芸術」の定義、位置付けを基本理念の中に明記してほしいです。文化芸術は、人間が人間らしく生き、成長するために、特に心の豊かさ、強さ、考える力を育むために欠かせない、時によっては(個人や社会が困難にぶつかった時など)衣食住より優先されるものと考えます。一般的に不要不急、贅沢、もしくはお金儲けの対象となりがちな認識の多い中では「文化芸術がなぜ市民にとって大切か」がまず明記され一致できないと今後の設計、建築、運営にあたっては支障をきたすと思います。	基本理念・基本方針は、「藤沢市文化芸術振興計画」等を踏まえております。基本理念・基本方針に基づき、文化芸術・知識との出会いの拠点となる再整備事業を進めてまいります。	②
4	基本理念が曖昧に感じます。調査事例の様な明確なビジュアルを想像しやすい言葉としてのコンセプトが必要だと思います。	生活・文化拠点として、基本理念の実現に向けた基本方針に基づき、再整備事業を進めてまいります。今後策定を予定している基本計画において、具体的な取組の検討を進めてまいります。	③
5	再整備は、「藤沢市図書館が市民のために目指すもの ～5年後・10年後・100年後も受け継がれる図書館に向けて～」にあるように、「現在の子どもの将来に誇りをもって届ける」というような副題の付与、一行の挿入は基本構想として必須でしょう。	基本理念・基本方針は、子どもたちを守り育むことを目標とした「藤沢市総合指針2024」を踏まえております。基本理念・基本方針に基づき、生活・文化拠点として、再整備事業を進めてまいります。	②

3 第4章1 複合化する施設（機能）に関する意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	<p>市民会館建て替えはコロナにより中座していたが、着々と進み驚いています。基本構想検討委員会も傍聴したが、複合施設について深く検討されていないのに、話が進むことに不安を感じます。</p> <p>ワークショップでは、複合施設ありきの設問で、市民会館、図書館の複合から膨らみ、10施設ということに市からの説明もないままに決まってしまうことに驚いています。ワークショップや検討委員会を市民の声とすることは違うと思います。きちんとした説明と、市民の声を一緒に作り上げる市民会館ができればいいと思います。市民利用者の声を聞きながら、進めてください。</p>	<p>施設（機能）の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としてることに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。今後も事業の進捗に合わせて、対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、情報発信と情報共有に努めてまいります。</p>	<p>③</p>
2	<p>市民の意見を尊重した計画を立ててください。</p> <p>10施設もの複合化が本当に必要なのか検討して下さい。</p> <p>進行中の計画は、全て公開して下さい。</p> <p>芸術文化の拠点が新しくなることは素晴らしい事だと思います。市民のための施設になることを期待しています。</p>		
3	<p>複合施設については、10もの施設が集められてしまうと、スペースの問題、また利便性よりも、利用率が高まって、なかなか利用できなくなるのではないかと心配もあります。複合化についてそれぞれの施設の責任者の考えを伺い、経済的な観点だけに偏らず、本当に複合がよいのかを検討して頂きたい。</p>		
4	<p>市民のための…を一番大きな基礎に掲げているのに合理的な印象を受けました。市民のための文化芸術を大事にするならば、4施設を中心にゆったりとしたスペースを回りに作って、特に舞台を見に来たり図書館に来たり用事がない人もどんな世代の人も集まりやすい場所があればよいなあ。文化芸術が身近に感じられるような施設にしてほしい。そのために立体駐車場、浸水施設、その他の複合施設についての説明を市民に納得のいくようにしてほしいです。</p>		
5	<p>再整備事業では10施設を複合することのメリットの根拠を示してほしいです。一つ一つの施設の規模内容が縮小されないか心配です。あくまでも老朽化した市民会館建て替えを真ん中に置いて整備してください。</p>		
6	<p>複合化する10施設の「なぜ複合」しなければならないのかその理由、利用者、関係者の声・要望を明らかにしてほしいです。市民会館についてはそれなりの調査がされていると思いますが、他施設についても現施設の課題だからあえて市民会館、図書館を複合したいといった明確な根拠を示すべきだと思います。複合化で移転すれば今までより遠くになって利用しづらくなる等、些細な事であっても市民ひとりひとりの声にも（勿論、全員が満足することは不可能としても）きちんと向き合いながら、よりよい施設のあり方を模索してほしいです。</p> <p>公共施設は誰のため、何のために必要なのか、「公共」だからできること、すべきこと、を市民とともに考え合いながら事業を進めていくことをこの基本構想の中で保障していただきたいと思っています。</p>		

7	<p>基本構想P24第四章1複合化するにあたり、青少年会館、市民活動推進センターの必要性が疑問です。両施設は特性上利便性の高い駅前などに合った方が活性化するように思います。</p> <p>逆に幼児を持つ家族向けの施設(大きなこどもスペースなど)は公園との連動からも必須だと考えます。</p>		
8	<p>素案は、複合化を予定されている10施設とその機能を単純に並行移動して、一つの建物に収めただけの案としか解釈できません。地方自治法の「最小の経費で最大の効果を挙げる」「組織運営の合理化」「その規模の適正化」が図られているとは思えません。過去(といっても直近の例ですが)を反省し、機能集約や、効率的な施設運営がなされているのかの資料を素案に添付していただきたいです。新規開発に際しては過去の反省は必須でしょう。</p>		
9	<p>老朽化した藤沢市民会館や南図書館を建て替えて欲しいという私たち市民の素朴な願いがいつの間にか複合化という巨大再整備事業に飲み込まれそうで、先行がとても不安です。50年後の子どもたちや大人が感嘆できる市民会館や図書館をメインに計画を進めて欲しいです。</p> <p>文化芸術は人と人とを利害関係を抜きに豊かにつなぎ、平和で創造性豊かな社会を創る原動力になると思います。未来を生きる子どもたちのために、10施設の複合化を再検討し、緑豊かな文化ゾーンを作ってください。浸水対策施設は他に候補地はないのでしょうか？</p>		
10	<p>複合施設の内、市民ギャラリーについては展示スペースの拡充、作品展示に必要な天井高さ3.5mは必要で、作品搬入出施設では駐車場の拡充、将来を考えた作品収蔵施設、事務室などの整備が必須である。美術館に準ずるもの！！</p>		
11	<p>藤沢市に在住され全国版で活躍された多くの芸術家の作品が、企画展として時節に公開されたら・・・それが出来るだけの美術館設備を備えたギャラリーであってほしい。</p> <p>藤沢市の今までの所蔵品とこれからのコレクションの収蔵庫を持ち、企画展の出来る、藤沢市展も3回に分けず同時に出来る規模の展示会場を望みます。</p> <p>収蔵庫を持った美術館機能を備えた市民ギャラリー建設を、藤沢美術協会創立時からご尽力下さった先生方と共に、現状からの切なる希望です。</p>	<p>生活・文化拠点として、基本理念・基本方針に基づき、再整備事業を進めてまいります。市民ギャラリーや常設展示室を活用した美術展示等が行えるよう、検討を進めてまいります。</p>	③
12	<p>市民ギャラリーは高い天井となるように。自在な間仕切りで多様な展示やワークショップが行えるように。これからの時代、音楽と美術のコラボなど多様な文化交流が出来るとういすね。</p> <p>常設展示室を企画展の出来るような美術館風の設えにして頂きたい。藤沢市の持つ沢山の収蔵品を企画展示したり、著名な作家の展覧会もして、他市からも多くの人が足を運んでくれるとういすね。</p>		

13	<p>藤沢市民ギャラリー、常設展示室については今事業で藤沢駅から藤沢市民会館までの道のりが遠く時間がかかるようになり不便である。特に高齢者にとって、他市からこられる人達にとってはなおさらである。よって今の市民ギャラリー、常設展示室は内容、運営を再度考慮していかなければならない。藤沢市民ギャラリーに関して本事業の複合化された市民会館全体の壁面を展示可能なギャラリーとして、各コーナーをそれぞれにあった名称をつけ、一番広い壁面をグランドギャラリーとして藤沢市展など公募展が可能な設備と機能をもたせる。</p> <p>常設展示室に関して、どこにもない小さな敷居(位)の低い美術館(展示室)を設けることで他市県内外美術館所蔵作品も借用しての展示も可能でしょう。</p>		
14	<p>昔の書物などを展示するのは、津波などの心配がないような他の場所でもよいと思います。せつかく大きな市民会館が作られるので、未来の子ども達が生きやすい環境作りを大人が用意するべきです。</p>	<p>事業対象地は、河川からの洪水や内水浸水の影響が想定されていることから、浸水対策等の必要な対策を講じてまいります。</p>	③
15	<p>多様な施設の複合につきましては、たくさんの機能を1か所に集中させるのは、危機管理の観点から不安があります。再度ご検討をお願いいたします。浸水対策だけではなく、耐震、防火等防災対策をしっかりと検討ください。</p>		
16	<p>当初、複合化は4施設だったのに、急に10に増えた。市民会館は現状どおり大、小ホール、展示ホール2つの機能を残し、ホワイエや席を大きくしたり、幅を多くとったりして、いいホールにしてほしいが、他の施設により、狭くなるのではないかと思う。緑がある環境もとてもよいので、無理に複合すべきではない。特に、青少年会館、市民会活動推進センター、文書館、生涯学習室。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方として加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。</p> <p>また、基本理念・基本方針に基づき、「市民が利用しやすい、市民のためのホール」となるよう再整備事業を進めてまいります。</p>	③
17	<p>茅ヶ崎、平塚には美術館という文化施設があります。藤沢市には、市民ギャラリーはありますが、それだけの施設ではないですね(複合型施設)。</p> <p>文化施設として誇れるのはやはり藤沢市民会館ではないでしょうか! ? 大、小ホール、展示ホールと今までの形をバージョンUP(音響も他には負けないとか)していただいて、広々と余裕があり、市民の文化活動への貢献、また、プロの文化人を「さすが!! 湘南藤沢の市民会館は素晴らしいですね!!」と唸らせる様な、文化都市を目指して市民の心が豊かになれる様な市民会館を造ってほしいです。ですから複合型施設は反対です。</p>		
18	<p>ホールへの楽器搬入のスムーズな動線をお願いします。現市民会館は楽器搬入が大変なようです。</p>	<p>市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、「市民が利用しやすい、市民のためのホール」となる再整備事業を進めてまいります。</p>	③
19	<p>10施設の複合は必要なのか、再考してほしい。詰め込みすぎだと思う。</p>		
20	<p>市民会館が複合施設となることで、どの施設も中途半端になってしまうのではないかと心配。ホールの他、どの世代も集える部屋を複数設け、各施設が企画発信する機会をたくさん作り、市民が親しみをもって利用参加したくなる施設となしてほしい。</p>		

21	<p>基本理念は市民のための文化芸術の拠点となっていますが、多くの機能を備えた拠点とする事が本当にそうなるでしょうか。</p> <p>当初、大、小ホール、図書館、ギャラリー4施設の複合化となっていた内容が、ワークショップの資料で8施設になっている事、信じられません。私たちはよりよい芸術を発する大ホール又は中ホール、小ホールを求めています。他図書館、ギャラリー、青少年会館、推進センター、学習室も市民活動、市民生活に大切な施設です。</p> <p>現在の市民会館は、大、小ホール、会議室、展示場、レストラン等、私たちの活動に大変役立っています。長年を過ぎ、今までよりもっと利用しやすい、市民に多くに集ってもらえる施設であるべきです。現在、点在している施設も複合せずとも現在の場所で改築するとか複合しなくても利用できると考えます。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としていくことに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。</p>	③
22	<p>複合施設とはいえ、10もの施設を集めることで、それぞれの施設の役割が見えにくくなり、混雑が予想され、安全性や落ち着いた文化環境からかけ離れた場所になってしまいます。現在のように、大ホールを中心とした施設にしてほしいです。子どものための施設は大通り沿いではなく、相応しい場所につくるべきだし、市民の憩いの場や市民活動の場も相応しい場所があるはずで、あえて一緒にする必要性が分かりません。せつかくつくるのだから、次の50年もしっかりと文化芸術の発信地としての役割を果たせるよう、誰にも分かりやすい方法で検討をお願いします。市民のための施設にするために、市民の意見を最大限反映させたものにしてください。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としていくことに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。今後も事業の進捗に合わせて、対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、情報発信と情報共有に努め、基本理念・基本方針に基づき、再整備事業を進めてまいります。</p>	③
23	<p>複合施設ということで、10もの団体や施設の名前があがっていることについて、どうして今この場所にそれが必要なのかを説明していただければと思います。</p> <p>これまで演劇や音楽の観賞に市民会館を利用してきました。藤沢の中心部、駅からも近いこの場所に、私たち市民が気軽に利用できて、憩える環境があるのは、素晴らしいことだと思います。再整備後も同様の環境が保たれるよう、要望します。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としていくことに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。また、複合化に当たっては、対象となる施設(機能)の使用状況等を踏まえ、適切な規模となるよう検討してまいります。</p>	③
24	<p>青少年会館は、駅に近く、駅の南側の市民にも北側の市民にも集まりやすく使いやすい。市民会館と合併したら、北側の市民にとっては遠くなり使いにくくなる。駅近で使いやすい青少年会館は、このままにしてほしい。</p> <p>市民会館の敷地にも限りはあり、沢山の機能をひとつに集約するには無理があると思う。それぞれが手狭になってしまうようにしてほしい。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としていくことに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。</p>	③
25	<p>いつの間に10もの複合施設になったのでしょうか。あくまでも市民会館、図書館を軸に考えることを切望します。限られた予算の中、あれもこれもとつめ込むことで、肝心の市民会館の機能が、貧しくならないか心配です。それぞれの活動は分散しているからこそ独自の活動が保障されることもあると思います。今でも大変な会議室が減少しないかも心配です。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としていくことに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。</p>	③
26	<p>市民会館はよく利用しているので、建て替えに当たっては藤沢市の文化芸術の拠点として市民が使いやすい施設にしてほしい。10施設の複合化ということで、高層化したり敷地いっぱいになって環境が悪くなることなどを心配している。また、青少年会館もよく利用しているが、複合化することで会議室なども絶対数が激減することになるのではないかな。いろいろな施設が複合により縮小してしまうのは困る。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としていくことに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。</p>	③

27	<p>「市民のための市民に使いやすい」というところがすごく良いと思います。藤沢市民会館は市民の文化芸術の中心となるように、市民の運動でできたという歴史があるので、新しくなっても、“市民”が大切にされ、また”市民”の、誇りとなるような施設になることが望ましいです。</p> <p>そのためには、市民にさまざまなこと、段階的にも決まる前にもきちんと説明がされ、市民と一緒に利用市民の声を生かして進めて欲しいです。</p> <p>今度の施設は子どもから大人まで、集い、出会い、そして、想像力豊かに育っていかれるような、素敵な施設になるといいですね。10施設の複合は、それぞれが狭くなり、ごちゃごちゃするのではと思います。もう一度本当にそんなにたくさんで良いか、検討ください。</p>		
28	<p>図書館とギャラリーの入る複合施設となることもとてもよいと思いますが、舞台や音楽を聴き高揚した気分から出てきた際に、図書館等静かさが求められる場所とは十分な距離が保てるよう、配置等工夫していただきたいと思います。</p> <p>青少年会館等、他の施設も入るとのことですが、面積的に可能でしょうか？</p> <p>ぎゅうぎゅう詰めにならず、基本理念にあるように人々が集う空間となるためには、ゆとりが必要かと思えます。</p> <p>市民の文化活動の中心であった市民会館をさらに文化芸術の共創拠点とするのであれば、市民が集まりたいような環境、空間が必要かと思えます。</p> <p>図書館、ギャラリー以外の施設を複合する場合に基本理念通りの施設となるのか、しっかりと検討していただきたいです。</p> <p>すべての施設において、市民の目線に立ち、設備、規模、利用料、予約の取りやすさ等々、市民がさらに利用しやすく、市民の為の施設となることを、切に願います。</p>	<p>施設の配置は、施設の魅力向上につながるよう配置するとともに、周辺環境に配慮したものとなるよう検討してまいります。また、事業の進捗に合わせて、対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、情報発信と情報共有し、有基本理念・基本方針に基づき、再整備事業を進めてまいります。</p>	③
29	<p>図書館の利便性また本の世界への窓口としての役割は、ODAKYU湘南GATEや既存の図書館で十分に果たしていると思えますので、旧南市民図書館の再整備に於いては、改めて記憶・記録の貯蔵庫としての図書館の有様を見直してもらえたら。現在に應えるばかりでなく、10年、20年先にあるかもしれない要望に答えられる蔵書がそこにあれば。</p>	<p>複合化施設を構成する文書館等と連携を図り、貴重な歴史資料や郷土資料に関する蔵書の充実、またデジタル化を見据えた資料保存の在り方等、複合化施設における図書館の役割を考慮し、再整備事業を進めてまいります。</p>	③

4 第4章2 藤沢市民会館の設置目的、今後の方針に関する意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	収益優先に反対します。 大ホールで、親子でうたうコンサートへの参加を毎年楽しみにしていました。子どもの輝く笑顔を見て藤沢市で子育て出来て幸せだと思い、長く住みたいから地域に溶け込もうと、人との繋がりを大切にしてきました。そういう気持ちが社会を豊かにして、治安維持に貢献すると考えます。	市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、「市民が利用しやすい、市民のためのホール」となる再整備事業を進めてまいります。	③
2	現段階では大ホールが1つしかないのは絶対に足りません。子どもたちには音楽会の発表をしたり、舞台劇を鑑賞するホールがもっと必要です。		
3	市民会館ホールにつきましては、観光客や市外の人の集客をあてにするイベントではなく、現状と同規模な大・小ホールで、市民(子どもから大人まで)が良質な演劇(古典芸能を含む)や音楽等を楽しんだり、また、市民が日頃の練習の成果を発表する場であることを希望します。		
4	大人も子どもも利用しやすい、現在と同規模の大、小ホールを希望します。 座席の勾配を作り前の人の頭が邪魔にならないよう設計してほしい。子ども用の座席用クッションも用意してほしい。お手洗いは全て洋式で、多めに設計してほしい。		
5	小さな子供やお年寄りが使いやすく、大きな劇場の様な施設があるといいと思います。		
6	建物については、①音楽のホール、②演劇のホール、③幼児から小学生が使えるようなホール、湘南台等のリハーサル室、④現在のレセプションホール、⑤入口はゆったりと徐々に会った人たちがおしゃべり出来るように。 座席は17人位並んでいるのが流行っていますが、出入りがとっても不便です。うまく仕切って、いざという時も出入りしやすいように、座席で閉じ込めないでください。高齢化しているので、座りやすく座席に行きやすい物を作れば5～60年は使えます。		
7	藤沢市は住民が増え、文化芸術面ではますます大きなホールが必要になっていると思います。現状の大ホールと同じ規模、もしくはそれ以上の規模のホールが必要です。		
8	市民の財産は未来を担う子どもたちです。どんな時代であっても夢や希望を持てるよう、小さなうちから文化芸術にたくさん触れる事はとても大切な事だと思っています。 観光等の魅力だけではなく、子育てがしやすく、そして子ども達だけでなく大人も、平和で安心した生活が送れる藤沢市になるよう計画をお願いします。大、小ホールだけでなく、ホールに入れない親子も観劇できるよう親子室や、小さな人形劇にも対応できるような平土間利用ができる部屋などを作ってほしいです。ホールなどゆったりとした異空間で、豊かな自然と調和するような、そして人が自然と集いたくなる施設を望みます。		

9	<p>藤沢市民会館の建て替えについては、ロビーの充実を願いたく。送り手／受け手が別れる公演が催される空間ばかりではなく、交流を主眼とした場所の拡充を。例えば、規定サイズの平面作品であれば誰でも展示出来る額の備え付けであったり、音媒体を持ち込めば誰でも気に入りの曲が掛けられるDJブースなどの設備を。もちろん、それら切っ掛けの歓談が許容され得る場所でもあって。本来このような役割は喫茶店や書店、レコード店、ギャラリー等が担っていたところですが、市内からサロンの性格を持つ場所が失われつつある現況、文化事業のシンボルとも見得る市民会館がそのような空間を内包すれば、多様な可能性を懐胎するのではと期待します。</p>	<p>市民会館のロビー等については、市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、みんなの居場所となる拠点として再整備事業を進めてまいります。</p>	③
---	---	---	---

5 第5章2ゾーニングのパターンに関する意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	<p>市民会館建替について、ゾーニングは他の建物を中心として目立たないように折角の文化拠点の中心、配慮がほしい！あまりの大きさで！複合化する施設は市民ギャラリー、常設展示、だけでよいと思います。</p> <p>他は別棟にて、景観を第一に、大ホール、小ホール、練習室3室板敷、和室、ピアノ室等外にも円形のステージと石段席、小さい子どもも利用しやすい市民会館にしてほしい。</p>	<p>施設のゾーニングについては、施設の魅力向上につながるよう配置するとともに、周辺環境に配慮したものとなるよう再整備事業を進めてまいります。</p>	①
2	<p>文化芸術施設、防災施設(浸水対策施設、避難施設)と憩いの緑地が融合した市民のための空間として、他自治体の手本となるような整備視点を持った構想が望まれる。又、内外の先進事例の紹介も望まれる。</p> <p>複合施設、浸水対策施設、駐車場等の構造物が占めるボリュームによって緑地がどの程度確保できるか、市民の憩いの場、グリーンインフラとして機能を持てるか、説明が欲しい。</p> <p>施設群景観と周辺景観を関連づけた緑道や面的文化芸術エリアの構築、駅からの当施設への誘導景観整備等の構想を検討して欲しい。</p>	<p>建物の配置や規模、デザインについては、自然を含む周辺環境や景観に配慮し、基本理念・基本方針に基づき、緑豊かで開かれた拠点となるよう再整備事業を進めてまいります。</p>	③

6 第6章1事業手法の考え方に関する意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	<p>どうして民間ビジネスが入らなくてはいけないのですか？50年位前はすべて公立でやり職員も公務員でした。それでもやってゆけました。公立で建て、職員や運営を何故民間にやらせるのですか？安上りそうに見えて決して安上りではないと思います。ゼネコンや企業が喜び、市民が泣く。それは間違っていると思います。理念にも書かれているように市民の立場を守る施設にしてください。</p>	<p>施設の整備・運営については、基本理念を核とした事業の目指す未来を実現するために最も適した手法により再整備事業を進めてまいります。</p>	③
2	<p>PPP、PFI手法導入では近年失敗例も多く見られ、国の方針として取入れていた海外でも見直す方向にあると聞きます。5年、10年の短期的な視点でなく、50年、100年の単位で市民の日ごとの生活、その積み重ねでつくる成長に関わる施設として、深い視線で考えてほしいです。</p>		

7 再整備事業に関する意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	<p>子どもがのびのびとできる居場所となる施設としてほしい。文化施設は、静寂さなど大人の視点ばかりで、子どもらしくふるまえる施設がなく、子どもが文化芸術に触れられる機会が少ないため、公共施設がその役割を担ってほしい。図書館の子ども専用資料室、ビデオ視聴スペース、ホールの親子室。</p> <p>子育て中の母親父親が学び、文化に触れる機会を確保するため、利用者の一部負担で、一時保育を併設してほしい。図書館に一時保育があれば、長い子育て期間を大人が疲れすぎることなく、育児や仕事をできるよう文化施設が支援する姿勢であってほしい。</p> <p>中高生の居場所となるスペースを検討してほしい。地域子どもの家等の小学生までの居場所はあるが、若者の集える場所が少ない。目的がなくても、集える場所があるとサードプレイスとして機能すると思います。</p>	<p>基本理念・基本方針に基づき、みんなの居場所となる拠点として、年齢、性別、障がい、国籍を問わず使いやすい施設となるよう再整備事業を進めてまいります。</p>	③
2	<p>子連れでの外出、トイレは母親への負担が大きいため、バリアフリー、男女トイレの両方に子どもの着替え台、オムツ替え、座らせておけるベビーキープのある個室、ベビーカーごと入れる個室を整備してほしい。子どもが来る場所には、子ども用の便座(または専用トイレ)の設置を検討してほしい。ベビーカーですべての場所にアクセスできるようにしてほしい。子どもや小学校低学年のこどもにもわかる表示、サインにしてほしい。</p> <p>みんなのトイレとして、あらゆる機能を1つにまとめたトイレは、使いたい人が集まりすぎて、逆になかなか使えず困ります。子ども、ベビーに対しては、集約しないようにしてほしい。</p>	<p>基本理念・基本方針に基づき、みんなの居場所となる拠点として、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設となるよう再整備事業を進めてまいります。</p>	③
3	<p>藤沢市民のための市民会館が建て替えられ、また新たな施設として藤沢市民の文化・芸術の豊かな発展に寄与してくれる…素晴らしいことだと思います。</p> <p>あの場所に市民会館があることの歴史的意義をふまえ、市民のための市民会館をどうぞよりよいものにしてください。そのために、市民の意見を尊重し、市民の声を聞きながら、計画を進めていっていただきたいと思います。</p>		
4	<p>基本計画で、利用者の意見を是非聞いてほしい。利用者とは市民、学校関係、文化団体(美術、書道、華道を中心に)です。末永く市民に愛されるよい利用施設としたいですね。児童生徒作品展の搬出入がスムーズに行なわれるよう、駐車場の整備をお願いしたい。市民ギャラリー搬入口近くに40台の駐車スペースを確保する。(各校搬入時に作品を積んだ車が展示を終えるまで駐車しておけるように…これは作品展に関わる教職員の負担軽減のためとても重要〜ルミネ時代も今の小田急も搬入搬出の段取りに大変苦労している)</p>	<p>市民の方との対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、情報発信と情報共有を進めます。また、市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、生活・文化拠点として、再整備事業を進めてまいります。</p>	③
5	<p>文化芸術はお金のかかるものであるからこそ、公共のものであるべきだし、市民の財産としてSDGsでも掲げる「つくる責任・つかう責任」を市民と市の「パートナーシップ」で担っていくべきだと考えます。</p>		

6	文化芸術に親しむ場が新しく出来るのは嬉しいです。市民(小さな子どもから年配者まで年齢問わず)が安心して利用できる市民会館にしてほしいです。定住して藤沢市で子育てしたくなるような市民会館になる事を願っています。		②	
7	市民会館はよく利用させて頂いています。このような施設があるから、子供に安心して観劇や音楽鑑賞の機会を与えられていると思います。どんな時代になっても、人の心に寄り添い、満たすのはやはり生の芸術だからこそ、シンプルに芸術に集中し楽しめるような施設であって欲しいと願っています。			
8	市民会館の建て替えをとっても楽しみにしています。子どもと一緒に観る様々な舞台などは心の栄養となっており、文化、芸能を楽しむ場所の必要性を感じています。日本の伝統、文化をまもり、次世代に繋いでいくためにも、私たち観る側も、演じるアーティストの方々にとっても、会館が、何度も来たいと思うようなあたたかい場所であって欲しいと思います。			
9	小さな子どもの頃から音楽や舞台鑑賞などが日常的に出来る環境が用意されている事がよいと思います。文化芸術的水準が高い藤沢市と自慢出来る施設にしてほしいので、本格的な設備は備えてほしいし、保育室や子ども鑑賞出来るブースがあると嬉しい。			
10	市民会館等再整備については絶対に収益性優先にした観光施設化ではなく、市民を主体とした使い易く利便性のよい施設にする必要がある。近隣都市と比べても44万人の藤沢市に芸術・文化の中核を担う施設となる方策を十分に検討して行く必要である。			市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、文化芸術・知識との出会いの拠点となる再整備事業を進めてまいります。
11	藤沢市民会館は、この20年近く親子、家族で、身近な文化に触れられる場所として、大切に思ってきました。観客として、また何度かは、舞台上に上がった経験もあります。建物のデザインや構造は、今よりもっともっとバリアフリーにする必要があると思いますが、これまでのように文化芸術を中核に市民が利用しやすい仕組みを守って頂きたいと思います。			
12	市民会館や美術館、展示ホール、博物館は芸術・文化の大切な場所です。利益を上げる場所ではなく、市民が学び、発信し、文化・芸術・教養を高め学ぶ場所です。人口が43万になるという市に見合ったものを作ってください。外見ではなく中味の充実した市民会館をつくって下さい。市民にもわかりやすい講座を作ってください。			
13	市民のことを第一に考えてほしい。収益ばかり追わないで、文化芸術の拠点としてふさわしいものを作してほしい。			
14	公共施設としてすべての市民(市内で在学・在勤する人を含めて)が取り残されること無く、利用できる施設の在り方を様々な状況、立場にある市民の日常生活目線から考えてほしいです。日々の生活の中に、地域の人達と共にあらゆる世代の市民が経済格差や障がい等にかかわらず平等に文化芸術を日常の糧とできるような施設を望みます。			
15	今まで同様、市民のための市民会館であって欲しい。観光客を呼び込み稼げる施設ではなく、市民利用を最優先し、心豊かな生活、成長のための文化芸術の拠点としてもらいたい。			
			③	

16	商業的な集客や利益をあげる為の場所にしないで欲しい。市民のための文化芸術施設であるべき。子育て世代にも住みたい街、藤沢だからこそ、子供の心を育てる、市民が豊かに生きるための文化芸術環境を守ることに力を入れるべきだと思います。		
17	市民会館の主電源には、オリンピックの選手村で実証実験された『低圧水素』と『燃料電池』を使ってください。停電時の非常電源も兼ねるため、防災面の利点からも検討してください。藤沢市も脱炭素エネルギー政策を積極的に進めてほしい。		
18	「◇避難場所(指定避難所・指定緊急避難場所)として、防災拠点施設と連携して災害対策を行います。」 「◆持続可能な施設のあり方として、太陽光発電その他の再生可能エネルギー等の導入に加え、自立分散型エネルギーシステムを導入してエネルギーの多重化を推進し、二酸化炭素排出量の削減を図ります。」 令和元年度、令和2年度に実地した市民ワークショップや意見集約等における、「災害時にも頼れる場所」・「浸水・津波の災害対策、災害時の利用を見据えた設備」等の内容を踏まえ、防災拠点施設のレジリエンス強化について盛り込んでいただくことを提案します。	基本理念・基本方針に基づき、安全安心を支える拠点として、再生可能エネルギーの導入等、環境に配慮した施設となるよう再整備事業を進めてまいります。	③
19	市役所や旧労働会館のように給水スポット(国際的な運動にもなっている、プラゴミを無くそう、水飢饉等)をあちこちで作って下さい。 太陽光発電をとりいれ空いているところ(通路)はリュウのヒゲ等緑化にも努めて下さい。地球温暖化を少しでもくいじめ、家族、様々な人たちが憩える場として考えて下さい。		
20	建物は、緑豊かに、調和する形がよい。 建物の高さは、高くなく(ビルのような形は好ましくない)、極力低くし、横に広く、緑が高く、空高く、建物を低く調和させ、とにかく自然を邪魔しない建物がよい。日本的な良さが感じられるものがよい。イベント等がなくても気軽に立ち寄れるようなカフェや共有スペースがあるとよい。	建物の配置や規模、デザインについては、自然を含む周辺環境や景観に配慮した施設となるよう再整備事業を進めてまいります。	③
21	市内学校の音楽会や習い事発表会に利用しやすい市民対象価格と商業コンサート等には会場使用料をもらって貸し出す等、公共施設として利益追求はあまりせずに、芸術鑑賞の出来る場所にしてほしいので、商業店舗と合わせるのも避けてほしいです。	市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、「市民が利用しやすい、市民のためのホール」となる再整備事業を進めてまいります。	③
22	他市の施設のように、入り口に大人向けのカフェを置くと、子ども連れは3人で1,000円かかるので入れないし、座れないので優しくないと思います。100円程度で気軽に入れるコンビニートインやファストフードなどを要望します。 文化にお金をかける事は未来の投資です。長い目で見て作ってほしいと思います	飲食施設の設置については、今後検討してまいります。市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、みんなの居場所となる拠点として再整備事業を進めてまいります。	③
23	市民会館は歴史から考えても、今の使われ方をみても「市民の利用しやすい市民のためのホール」であるべき。 どの施設も使用している市民や団体の意見を聞いて、また市と意見交換しながら進めてほしい。業者に丸投げすると市民の声や市側の考えと違ってそのまま進んで完成してしまいそうで不安。		

24	市民会館は、現在と同程度の大小ホールはもちろん、第1・第2展示ホールは必要。100-200人が入れる部屋は集会や催し物など、必要性が高い。図書館などについても、飲食店や商業施設を入れないでほしい。経済的な収益よりも文化・芸術・教育や学習中心の施設にしてもらいたい。市民会館では、小ホールにも親子室が必要だし、保育室もほしい。そして市民が利用しやすい使用料でなければ。この先の進め方についても、市民向けの説明会などを開催して市民がよくわかるようにしながら、市民の声を取り入れて進めてもらいたい。	市民の方との対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、市民会館利用者へのアンケートを行います。また、情報発信と情報共有を進めながら、基本理念・基本方針に基づき、「市民が利用しやすい、市民のためのホール」となる再整備事業を進めてまいります。	③
25	市民会館の建設計画に住民側の意見が聞き入れられているとは思えず、住民に対する説明も不十分であると思います。このまま計画を進めると住民からの反対がより強くなるのが考えられ、今後ホールができたあとにも影響すると思うので、住民の意見を取り入れるべきであると考えます。		
26	学校の校外学習に利用できるように大型バス8台の駐車場(8・・・現在の学年最大クラス数)と弁当を食べることが出来る屋内の椅子テーブル300席を用意する。(他市からも喜んで来場するでしょう・・・昼を挟んで児童生徒が文化芸術体験できる施設にしたいですね) また、旧近藤邸のスカイハートのように障がい者が働ける場所をできるだけ沢山提供すること(市民が日常的に障がい者と接することで差別・偏見は軽減されます・・・やまゆり園事件を二度と起こさない共生社会としての藤沢をつくりましょう)	市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、みんなの居場所となる拠点として再整備事業を進めてまいります。	③
27	市民会館は文化芸術の拠点です。営利目的や事業者優先であってはならないと思います。市民が集えて使いやすい施設を希望します。また、こういった市民の声を優先してくださいよう要望します。	市民の方との対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、情報発信と情報共有を進めます。また、市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、文化芸術・知識との出会いの拠点となる再整備事業を進めてまいります。	③
28	複合であろうとなかろうと緑が少なくなったり、ごみごみしたようなものは作らないで下さい。非常口もわからない建物は最低です。省エネのためにも搬出入がしやすいように、複合する場合は舞台関係は1階にして下さい。 授乳室や一時預かりの場、幼児～子育て期・老人はもちろん小中学生も楽しんで使える場づくりを。大手のコンビニ等は不要です。近場にもあるし、持続可能な社会づくりにはなりません。 藤沢は湘南の中心です。やっぱり緑は残し、広げましょう。儲けのためではなく、全ての人が生きるために。 あちこちの施設を見てまわり、いい点、悪い点を学び多少お金がかかっても50年後を見込んでいいものを作りましょう。	建物の配置や規模、デザインについては、自然を含む周辺環境や景観に配慮し、基本理念・基本方針に基づき、緑豊かで開かれた拠点となるよう再整備事業を進めてまいります。	③
29	トイレ及び手洗いは、3、4才の幼児が自らの力で洗えるように低く、奥行きも考え保育園から学んでください。 車椅子やヨボヨボ歩いている者にも安全な通路にして下さい。	基本理念・基本方針に基づき、みんなの居場所となる拠点として、誰もが利用しやすいようバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設となるよう再整備事業を進めてまいります。	③

30	<p>飲食の場は出来るだけ地域の店を大切にしたり、身障者の人たちが働ける場づくりをしてください。</p>	<p>飲食施設の設置については、今後検討してまいります。基本理念・基本方針に基づき、みんなの居場所となる拠点となるよう再整備事業を進めてまいります。</p>	③
31	<p>大前提として複合施設への計画は賛成です。しかし、既存他者との比較や工事等の効率都合だけで平均的な計画には反対です。せつかくなら、比較研究による長所、短所を踏まえた、どの都市にも無い藤沢市だけの革新的なコンセプトと実施を求めます。 具体的な意見として ・大規模改修と建替えとの費用換算の整合性が明確に感じません。概算でも予算実数の提示がこの基本構想にも記載がほしいです。 ・同様に基本構想にある複合施設の先進事例にその点に触れていないように思います。 このような参考事例が改修なのか移転なのか、同土地の建替えなのかの詳細条件も比較内容に必要なかと思えます。 ・上記の点で費用問題がクリアできるならば建替えでなく、大規模で革新的な改修工事の方が現代においては話題性、個性を提示できると思えます。</p>		
32	<p>「再整備」という消極的な姿勢ではなく、藤沢市の新たな文化ゾーン構築としてのGrand Project雄図のコンセプトをまず立ち上げることで、藤沢市内外への文化都市として強いアピールにつながる。一方、単に老朽化した施設の再整備では、どこの都市とも変わらない独自性を欠いた計画となる。 そのコンセプトのもとに、種々の施設計画が位置付けられる必要がある。その際の施設計画は、単体の施設の刷新としてではなく、公園も含めた音楽ホール、美術館、図書館等の施設が内部外部空間で有機的に連動する新しい形の文化施設が望ましい。そうした新たな場は、市民の日常生活の輝きを、さらに藤沢から世界へ向けて発信できる文化の創造を可能にすると考える。</p>	<p>施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としております。また、複合化による相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現につながるよう、各施設(機能)のビジョンやコンテンツを明確にしてまいります。</p>	③
33	<p>1 よい調和が出来るなら複合化賛成 2 浸水対策施設には賛成、必要 ゾーン全体の環境にどう溶け込ませるか 3 検討委員会での討論では市民会館以外のことがほとんどなかったのも、複合化によるメリットが全く語られていない 4 それでも素案はよくまとめられてはいる。しかしやや総花的・作文的 事例としては、図書館がすでに何十年もやり続けていることを語っているだけ 5 限られた(空間?)複合施設では個別にゆったり感、静けさ、入りやすさを出すのは困難 6 ゾーン全体、複合化全体としての魅力が出せなければならない。</p>		
34	<p>商業化せず、あくまで市民が心を解放できる品のよい空間となしてほしい。SDGSを考慮して、運営費などがかからないように充分検討してほしい。若い世代が継続して藤沢市に住みたくなるような、ハード(建物)だけでなくソフト(サービス)も充実した施設ができることを楽しみにしています。</p>	<p>施設の整備・運営については、基本理念を核とした事業の目指す未来を実現するために最も適した手法を検討してまいります。また、藤沢市SDGs共創指針を踏まえた施設整備・運営を検討してまいります。</p>	③

35	<p>1. 市民会館の他にギャラリー、図書館などの複合施設なので事業費が高額になるのは止むを得ないが、既存の施設を利用できるものがないかも考慮してほしい。民間の資本を入れるという意見もあるが、市民からクラウドファンディングを募るなどして公共性を保ってほしい、</p> <p>2. 地震による津波など視野に入れて防災面も考えてほしい。高さを考えて、一時避難、ランドマークとしての役割など。</p> <p>3. 大規模な施設になると思うので、駐車場整備、周辺の道路状況を十分に考慮に入れてほしい。 文化都市藤沢の拠点として長期的な視点から利便性にもすぐれた「みてくれ」だけでない整備を希望する。</p>	<p>再整備に当たっては、財政負担の軽減を図るため、民間資金や国等の補助金の活用のほか、クラウドファンディングの活用も検討してまいります。</p> <p>既存建物の利用については、バリアフリー対応等の改修が困難であるため、建て替えによる再整備とすることとしております。また、浸水対策を含む様々な災害等への備えについても考慮してまいります。</p>	③
36	<p>文化施設に経済効果を求めるような議論は止めて下さい。文化都市藤沢の誇りを持てるような市民会館ができることを心より願っています。</p>	<p>市民や利用者が安心して利用できるよう、生活・文化拠点として基本理念・基本方針に基づき、再整備事業を進めてまいります。</p>	③
37	<p>市議会において、「収益を上げる」「経済、財政効果」、「民間業者の話をきけ」、「収益性が考慮されていない？」等の意見があったが、公共施設、文化芸術、市民活動の大切さ、意味はどこへ行ったという感想です。私達が考えて行動してきたことが、何の意味もなくなってしまうのでしょうか？</p>		
38	<p>市民会館の建て替えについて私の周りの人に聞くと知らない人ばかりで、建て替えは中止になったと言う人もいました。もっと市民に分かりやすく過程を知らせてください。総合施設にしてしまうと渋滞や駐車場の心配と、各地域に公的な施設があるほうが避難場所など非常時に安心です。市の施設に収益は疑問です。市民の為にある施設が利用しにくくなるのではないか。大ホールの舞台の床材は良い物と聞いたことがあり、出来れば質は落とさないようにお願いします。市民の声が反映される施設を造って貰いたいので、もっと機会を増やしてほしいです。</p>	<p>市民の方との対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、情報発信と情報共有を進めます。また、市民や利用者が安心して利用できるよう、基本理念・基本方針に基づき、「市民が利用しやすい、市民のためのホール」となる再整備事業を進めてまいります。</p>	③

8 その他の意見等

番号	意見等の要旨	市の考え方	意見等の反映
1	複合化して空いた土地、青少年会館等市の物件の跡地はどうするのですか？ 建物や部屋の名前は横文字でなく、藤沢にちなんだ日本語をお願いします。	複合化した施設の跡地については有効活用が図られるよう検討してまいります。また、施設の名称については、市民に親しまれる施設となるよう検討してまいります。	③
2	小規模でもよいので美術館を作っていただきたいです。作品をコレクションしなくても、企画展を回していく新しいスタイルの美術館でもよいと思います。 市民ギャラリーだけでなく「美術館」という大きなブランドがあることで大きく変わっていくと思います。私のギャラリーからもよい作家を紹介することも可能です。ぜひ検討をお願いいたします。		
3	藤沢市には美術館、博物館という文化的施設がありません。現在ある市民ギャラリーが常設展示室に代わる美術館、博物館(一体的建物か別々の建物)を複合化の重要事項とするべきだと考えます。 文化都市藤沢を標榜するのであれば、この時期をのがしては美術館、博物館は永遠にできないと思いますので、是非この美術館、博物館を複合化の重点項目にするべきであると考えます。	生活・文化拠点として、基本理念・基本方針に基づき、再整備事業を進めてまいります。市民ギャラリーや常設展示室を活用した美術展示等が行えるよう、検討を進めてまいります。	④
4	藤沢市全体を見渡すならば、市庁舎と図書館の合築、旧市庁舎の図書館への転用による行政サービス機能の一体化などの方向も考えられます 住民主体の街づくりをお願いします。	施設(機能)の複合化は、「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、将来にわたって必要な行政サービスを維持していくため、公共施設を再整備する際には、複合化により市が保有する施設数を縮減することを基本的な考え方としていることに加え、相乗効果や効率的で質の高い公共サービスの実現に資するものと考えております。今後も事業の進捗に合わせて、対話集会を開催するなど意見交換の場を設けるとともに、情報発信と情報共有に努めてまいります。	④
5	膨大な掘削土のトレーサビリティ、利用、処分方法等の開示が必要である。	残土処分については、法令に基づき、適切に処理してまいります。	④